

# 泌尿器科カリキュラム

## I. 目的と特徴

泌尿器科研修では、徳島大学病院卒後臨床研修プログラム中の経験すべき疾患のうち泌尿・生殖器疾患の症状、病態、治療法を理解し、実行することを目的としています。

徳島大学泌尿器科では、腎・尿路・男性生殖器及び副腎など後腹膜臓器の疾患全般をバランスよく研修できます。泌尿器科診療を適切に理解し、実施することを目標とします。さらに患者の生活の質（QOL）への配慮やインフォームド・コンセントを行えるようにします。尿路性器腫瘍、尿路性器感染症、排尿障害、神経因性膀胱、小児泌尿器科、代謝・内分泌疾患、男性不妊、勃起障害、女性泌尿器、腎血管外科、腎移植、腹腔鏡手術、内視鏡検査および内視鏡手術（膀胱鏡・尿管鏡）、ESWL（体外衝撃波結石破砕術）などについて専門医が直接指導にあたります。

## II. 研修責任者

金山 博臣 教授 （日本泌尿器科学会専門医、日本泌尿器科学会指導医、  
日本透析医学会専門医、日本透析医学会指導医、  
泌尿器腹腔鏡技術認定医、がん治療認定医）

## III. 運営指導体制および指導医数

教授 1名、講師 4名、助教 4名、医員 6名。日本泌尿器科学会指導医は 9名。研修医 1名につき、1人の指導医が選任され、入院患者の診療を共同で行います。日本透析医学会専門医は 7名、日本透析医学会指導医は 1名、泌尿器腹腔鏡技術認定医は 5名、日本性機能学会専門医は 1名、日本小児泌尿器科学会専門医は 1名、日本がん治療認定医は 6名います。指導医講習会受講者数は 2名です。

## IV. 臨床実績

外来患者数は 1日に 70-100人、手術件数は年に約 500例を数えます。入院患者総数は年に 500-600人です。診療内容は、泌尿器科癌（前立腺癌、膀胱癌、腎癌、腎盂尿管癌、精巣癌、陰茎癌）、前立腺肥大症、尿路結石、尿路感染症など一般的な泌尿器科疾患はもとより、前立腺癌小線源治療、神経因性膀胱、小児泌尿器科、男性不妊や勃起不全、女性泌尿器科に関しても、専門外来を設け、積極的に診察を進めています。

## V. 研修目標

### 一般目標（GIO）：

- （外来）プライマリ・ケアを含む外来診療を適切に実施する能力を養う。
- （病棟）主治医として泌尿器科領域の基礎的臨床能力を持ち、入院患者の全身局所管理が適切に行える。
- （治療）泌尿器科領域の基礎的治療に関する意義、原理を理解し、手術適応を決め、手術手技を習得し、治療前後の管理ができる。

### 行動目標（SBO）：

1. 泌尿器科外来において適切な問診、診察を行うことができる。  
泌尿生殖器の理学的検査（腎・腹部触診、前立腺触診、神経学的検査など）を実施し、所見を判定できる。
2. それらについて適切な検査を選択し、自ら行い、所見を判定できる。  
以下の検査を実施し、所見を判定できる。  
検尿、血液、生化学、内分泌検査、腎機能検査、尿道分泌液、前立腺液、精液検査  
ウロダイナミックス、内視鏡検査、尿道カテーテル法  
X線検査、超音波検査、核医学検査
3. 検査結果等を総合して、診断を下すことができる。  
以下の疾患について理解する。  
腎、尿路、男性生殖器の感染症、尿路性器結核、尿路結石  
腎、尿路、男性生殖器の腫瘍、神経因性膀胱機能障害、前立腺肥大症、尿失禁  
男性不妊症、陰茎勃起障害、腎血管の異常に基づく疾患  
停留精巣、陰嚢水腫、尿道下裂、先天性水腎症、膀胱尿管逆流症などの代表的な小児泌尿器科疾患
4. 適切な治療を選択し、初期治療や救急の処置を行うことができる。  
術前後の管理ができる。  
悪性腫瘍の放射線療法および化学療法の適応を理解し、全身化学療法のレジメを指導医とともに考え、施行できる。また、治療による合併症の管理ができる。  
偶発症に対して迅速かつ的確に処置が行える。  
救急医療を要する疾患に対し専門医と共に初期治療が行える。  
診療録の適切な記載ができ、紹介状を書くことができる。  
泌尿器科手術を理解し、その介助ができる。

## VI. 研修内容

(外来)

問診、症状、泌尿生殖器の理学的検査、検尿などより診断ならびに鑑別診断を行う能力をつける事を目標にします。またウロダイナミックス、内視鏡検査、X線検査、超音波検査などの検査を適切に実施し、所見を判断できるよう指導します。

(入院患者の管理、治療)

指導医とともに主治医として患者に対して全身局所管理を行い、適切に治療計画を建て、患者・家族に正しく情報を伝え、了解のうえで医療を行います。また、指導医とともに救急医療を要する疾患に対しても初期診療を行えるようになることを目標としています。

疾患の種類と程度および患者の状態に応じて、手術の適応と術式を判断し、手術によって起こりうる偶発症、および手術後の合併症、続発症、機能障害について理解し、手術の助手をつとめ、可能な場合執刀を行います。

## VII. 研修スケジュール

各種泌尿器科疾患患者を担当する。受け持ち患者の検査、治療には責任をもってあたり、症例検討会、教授回診では、症例提示を行います。

|         |           |                          |
|---------|-----------|--------------------------|
| 病棟回診    | : 月曜日～金曜日 | 午前                       |
| 教授回診    | : 火曜日     | 午後                       |
| 手術      | : 月曜日、水曜日 |                          |
| カンファレンス | : 火曜日     | 午後                       |
| 抄読会     | : 月曜日、水曜日 | 7:30~8:30 (水曜日は第一、第三週のみ) |

## VIII. 評価法

研修責任者と指導医が研修態度、症例提示、患者さん・家族・スタッフへの対応、知識・技術の習得度などを総合的に評価し、適宜フィードバックをします。最終的評価はオンライン臨床研修評価システム (EPOC) を用いて行います。